

Strada

Panasonic®

7V型ワイドインダッシュテレビ付  
DVDビデオプレーヤー内蔵  
DVDカーナビステーション

# 取扱説明書

品番

リヤビューカメラセット

# CN-DV250RD CN-DV250D

## はじめにお読みください

# ナビゲーションの 準備・基本編

ご使用前に、本書の「安全にお使いいただくために」と「使用上のお願い」を必ずお読みください。

準備・確認

地図の見かたと  
基本操作

ルートを作る

テレビを見る  
DVDビデオを見る  
音楽CDを聞く

必要な  
ときに

この説明書と別冊の「ナビゲーションの操作編」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。



## はじめにお読みください。

### ナビゲーションの準備・基本編(準備・基本編)

準備から基本操作までとナビゲーションの使いかたをかんたんに説明しています。



### ナビゲーションの操作編(操作編)

- ナビゲーションの操作方法
- テレビ/DVDビデオを見る
- 音楽CD/MP3を聞く
- SDメモリーカードを使う
- SD覚えてルートを使う

読みたいところを探すときに、ご利用ください。

- もくじ ..... 3~5
- さくいん(50音順) ..... 157
- さくいん(メニュー一覧から) ..... 160



### 設置と接続(取付説明書)

- 取り付けかた
  - 配線のしかた
  - 取り付け・配線の確認
- を説明しています。

安全のため、取り付けと配線は、専門技術者に依頼してください。

## 準備・確認

安全にお使いいただくために.....	4
使用上のお願い.....	9
主な特長(上手に使うって快適なドライブを).....	10
各部のなまえとはたらき.....	14
準備・確認.....	16

準備・確認

## 基本

地図の見かたと操作を覚えよう.....	22
地図の紹介.....	32
メニュー画面の操作を覚えよう.....	36
サブメニューの操作を覚えよう.....	38

地図の見かたと基本操作

## かんたんガイド

詳しくは、「操作編」をご覧ください。

行き先までのルートを作るには.....	40
行き先を探す(代表例).....	42
ルートを編集・確認する.....	48
走行中の案内について.....	52
FM VICSを受信すると.....	53
自宅へ帰る.....	54

ルートを作る

テレビを見る.....	56
DVDビデオを見る.....	58
音楽CD/MP3を聞く.....	60

テレビを見る DVDビデオを見る 音楽CDを聞く

リモコンの使いかた(テレビ/ディスク再生).....	62
文字入力のしかた.....	64
メニュー一覧表.....	66

必要なときに

# 安全にお使いいただくために

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

操作時

運転者は走行中に操作をしない  
また、画像・表示を注視しない

 **禁止** 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。  
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

実際の交通規制に従って走行する

 ルート案内中でも、必ず道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。交通事故やけがの原因になります。

故障や異常のまま使用しない

 **禁止** 万一、故障(画像が映らない・音が出ないなど)や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど)が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に相談してください。そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。

必ずお守りください

## 警告

操作時

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届かないところに保管する

 あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

地図ディスクは、DVD・CDプレーヤーなどで絶対に再生しない

 **禁止** 大音量によって、耳に障害を与えたり、スピーカーを破損する原因になります。

リモコンを放置しない

 **禁止** 運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

雷が鳴りだしたら、アンテナやプラグに触らない

 **禁止** 感電の原因になります。

## 警告

取り付け時

運転や視界の妨げになる場所に絶対に取り付けない

 **禁止** 前方・後方の視界の妨げになる場所、運転に支障をきたす場所(シフトレバーやブレーキペダル付近など)への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付け・アース配線等に、保安部品を絶対に使わない

 **禁止** 保安部品(ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど)のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC12Vアース車で使用する

 本機はDC12Vアース車専用です。DC24V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因になります。

分解・修理、および改造をしない

 **分解禁止** 分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

準備・確認

●安全にお使いいただくために

## 警告

取り付け時

### 必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する

 規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に依頼してください。

### コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

 ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

### 配線・取り付け作業中は、 バッテリーの⊖端子を必ずはずす

 バッテリーの⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

### エアバッグのカバー部分や作動の妨げ になる場所に、絶対に取り付けない

 エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。  
禁止

### 車のパイプ類・タンク・電気配線 などの位置を確認して取り付ける

 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉や接触しないようにしてください。火災や事故の原因になります。

### 指定に従って設置・配線する

 説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

### はずれたり・落下しないように、 しっかり取り付ける

 ねじがゆるんでいたり、接着が弱いと、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

### 安全のため、必ずサイドブレーキ コードを接続して使用する

 説明に従って正しく配線しないと、安全機能が働かなくなり、交通事故の原因になります。

## 注意

操作時

### 適正な音量で使用する

 車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。

### 機器内部に異物を入れない

 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。  
禁止

### 水のかかる場所、湿気や埃の多い 場所で使用しない

 発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。  
禁止

### 可動部に手・指を入れない

 可動部に手・指を入れると、けがや故障の原因になります。特に乳幼児にはご注意ください。  
禁止

### 電池は正しく使う

破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。

 指定の電池以外は使用しない。  
新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。  
充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。  
著しく温度が高くなる場所に電池や電池の入ったリモコンを放置しない。  
(窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光の当たるところ、ヒーターの近くなど)

 ⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れる。  
使いきった電池は、すぐに交換する。  
リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。  
電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。(ポリ袋に入れる、テープなどを巻く)

### 電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

### 電池の液もれが発生した場合の処置について

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。  
もれた液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。  
万一、目に入ったときは、こすらずにすぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

準備・確認

●安全にお使いいただくために

# ⚠ 注意

取り付け時

## 配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

## 必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

## 振動の多いところや不安定な場所に取り付けない



傾いた場所、強い曲面などに取付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

## 本機の通風孔や放熱板をふさがない



内部に熱がこもり、発火や故障の原因になることがあります。

## コードを破損しない



禁止

断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。車体やねじ・可動部（シートレールなど）への挟み込みで破損しないように引き回す。傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

## アンテナは、はみ出さないように取り付ける



アンテナエレメントが車幅および車の前後部からはみ出すと、歩行者の目や顔などに接触して、事故やけがの原因になります。

## アンテナは、落下しないようにしっかりと取り付ける



ねじがゆるんでいたり、取り付け部の接着が弱いと、走行中に落下して車のボディを傷つけたり、事故やけがの原因になります。時々点検してください。

必ず、サイドブレーキコードを接続してご使用ください。

走行中はテレビ (DVDビデオ) の映像が表示されず、音声のみとなります。また、停車状態でもサイドブレーキを引かないと映像は表示されません。(安全機能)

## 車載用以外には使用しないでください。

車載用以外 (例えばレジャーボートやアウトドアなど) に使用すると、発煙・発火、感電やけが・故障の原因になる場合があります。

## エンジンをかけて使用してください。

エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。

## 他の機器と接続する場合は...

接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

## 携帯電話を使用する場合は...

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。

## 液晶ディスプレイについて

液晶ディスプレイは傷つきやすいので、必ず指で触れて操作してください。

ボールペンなど先端の固いものや鋭利なもの、また爪先で操作しないでください。

液晶ディスプレイに衝撃を与えないでください。

液晶ディスプレイを保護するため、本機を使用しないときは、直射日光があたらないようにしてください。

低温になると、映像が出なくなったり、出るのが遅くなったりすることがあります。また、映像の動きに違和感が出たり、画質が劣化したりすることがあります。

(使用可能温度: 0 ~ 40 )

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、水蒸気で液晶ディスプレイの内側がくもったり、露(水滴)が生じて、正しく動作しないことがあります。無理に使用せず、本機を約1時間ほど放置してからご使用ください。

## ディマーセンサーについて

本機は、周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動調整しますが、直射日光など強い光が直接ディマーセンサーにあたると、ディマーセンサーが正しく動作しない場合があります。(☞操作編:「故障かな!?」)

## 取り付けについて

取付時など、本機を落下させる、たたくなどして衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

## 免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害 (事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など) に関して、当社は一切の責任を負いません。

商品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両 (バス・タクシー・商用車など) に使用した場合、適用対象にはなりません。

他人に譲渡または処分などされる際は、プライバシー保護のため本機に入力した個人情報 (登録ポイントの住所や電話番号など) の取り扱い、管理 (消去等) は、必ずお客様の責任において行ってください。当社は一切の責任を負いません。

お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報 (登録ポイントなど) が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。

大切な情報 (登録ポイントなど) は、万が一に備えて、SDメモリーカードに保存したり、メモなどをとっておくことをお奨めします。(☞操作編:「SDメモリーカードを使う」)

準備・確認

●安全にお使いいただくために / ●使用上のお願い

# 主な特長 (上手に使って快適なドライブを)

## ナビゲーションを使いながらディスクの再生が楽しめます (SD覚えてルート)

地図ディスクから必要な地域の地図を選んでSDメモリーカードに保存すると、地図ディスクがなくても、SDメモリーカード内の地図をもとにルート探索やルート案内、VICS情報表示などのナビゲーション機能が使えます。(SD覚えてルート)

SD覚えてルート中は、地図ディスク以外のディスク (DVDビデオ、音楽CDなど) の再生ができるので、ナビゲーションを使いながらDVDビデオや音楽CDを楽しむことができます。

また、2台目のモニターを使用している場合は、ナビゲーションを使いながら、2台目のモニターにDVDビデオやテレビの映像を表示できます。

詳しい操作については、「操作編：SD覚えてルートを使う」をご覧ください。

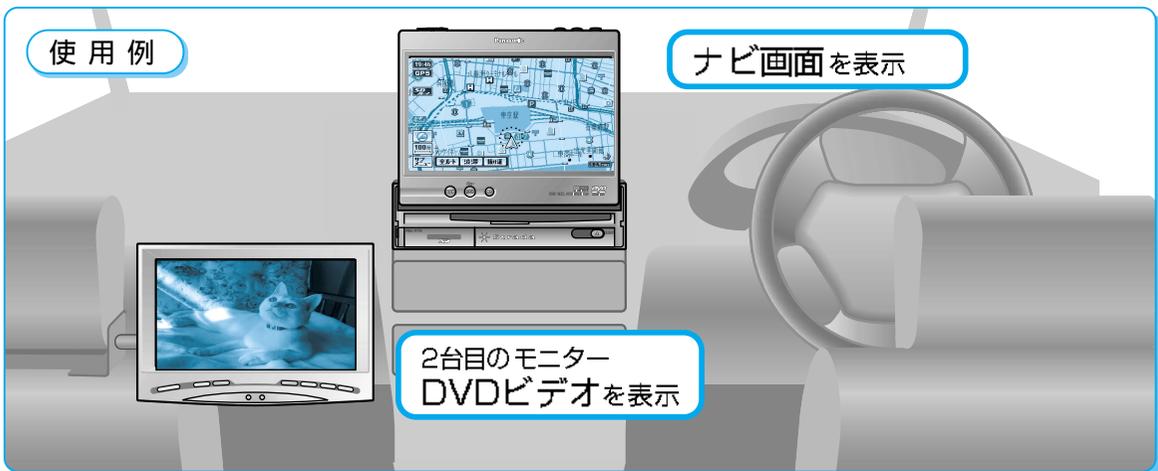
## 1 SDメモリーカードに 地図を保存する。



## 2 地図ディスクを取り出す

SD覚えてルートが起動します。

が表示されます。



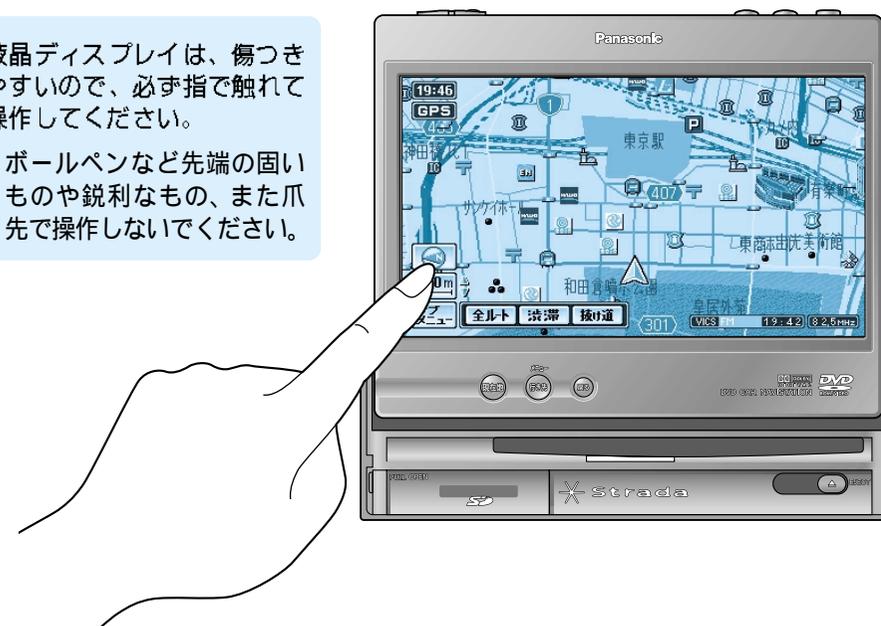
## タッチパネルで簡単操作

準備・確認

画面上の**タッチキー**に**タッチする**だけで、**操作**できます。  
(軽く触れる)

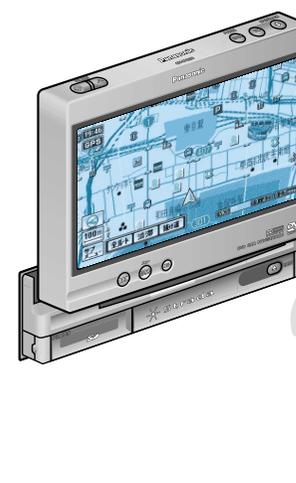
液晶ディスプレイは、傷つきやすいので、必ず指で触れて操作してください。

ボールペンなど先端の固いものや鋭利なもの、また爪先で操作しないでください。



本書では、タッチキー操作とモニター部のボタン操作を中心に説明しています。リモコン操作は、タッチキー操作と異なるときだけ、記載しています。

リモコンでも操作できます



例1) モニター部の **現在地** **行き先** **戻る** と

リモコンの **現在地** **行き先** **戻る** は、同じはたらきです。どちらのボタンを押しても同じ操作ができます。

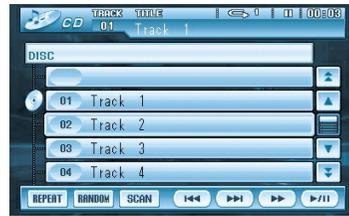
例2) 画面にタッチする代わりにリモコンの **決定** で項目の選択、決定ができます。

● 主な特長 (上手に使って快適なドライブを)

# 主な特長（上手に使って快適なドライブを）

## DVDビデオ/ビデオCD/音楽CD/CD-R(MP3ファイル)再生機能

地図ディスクを取り出し、DVDビデオ/ビデオCD/音楽CD/CD-R・RW (MP3ファイル)の再生ができます。  
(☞58～61ページ)



## リヤビューカメラ搭載（CN-DV250RDのみ）

シフトレバーに連動しているので、シフトレバーをR(リバース)に入れると、自動的にリヤビューカメラの映像が本機に表示されます。また、自車の幅などに合わせたスケール表示も可能です。  
(☞操作編：「他の機器と接続して使う」)

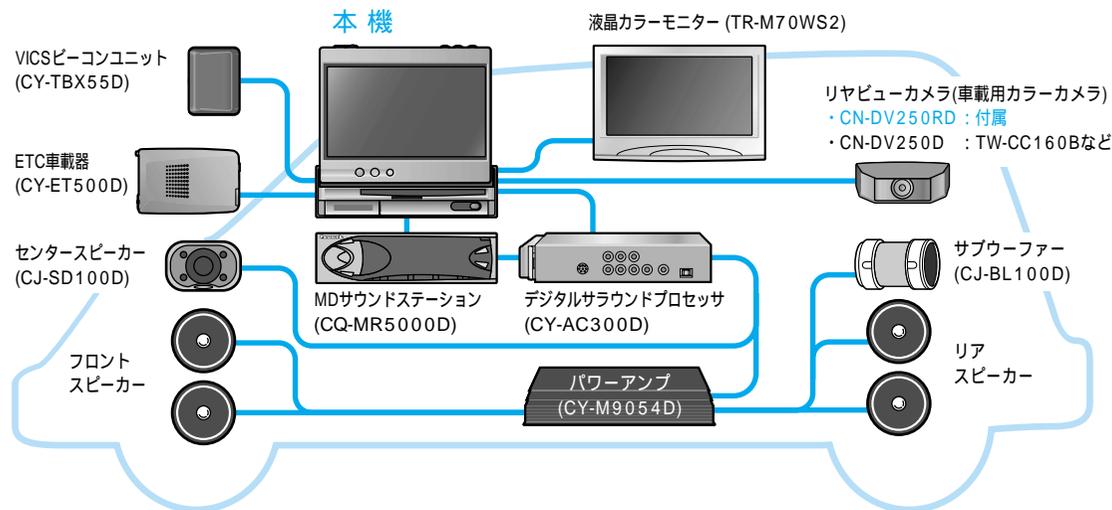


CN-DV250Dをお使いの場合も、別売の車載用カメラ(TW-CC160Bなど)を本機に接続して使えます。

## 別売品との組み合わせでシステムアップ

VICSビーコンユニットやETC車載器と組み合わせて使うと、ビーコンからのVICS情報や、料金所の路側アンテナからの情報に連動して、ナビゲーションの案内を行います。

カーオーディオと接続すると、本機の音声を車載のスピーカーから出力できます。さらにデジタルサラウンドプロセッサと接続すると、DVDビデオの再生時に、ドルビーデジタル5.1chサラウンドを楽しめます。



## 見やすい地図表示とかんたん操作

**豊富な検索メニュー**  
多種多彩なジャンル検索やハイブリッド検索による候補の絞込みが可能です。



**かんたん操作メニュー**  
目にも見やすくタッチ操作もやりやすい、大きなメニューアイコンで、簡単操作を実現しました。



**親切・丁寧な案内**  
分岐交差点で車線案内をわかりやすく表示します。方面と進行方向を実際の看板と同じデザインで表示します。



(3Dレーンガイド)



(一般道方面看板表示)

分かりにくい都市高速の入口をリアルな3D拡大図で表示します。高速道路や主要有料道路の分岐や出口を看板表示と3D拡大図で表示します。



(3Dハイウェイ入口案内)

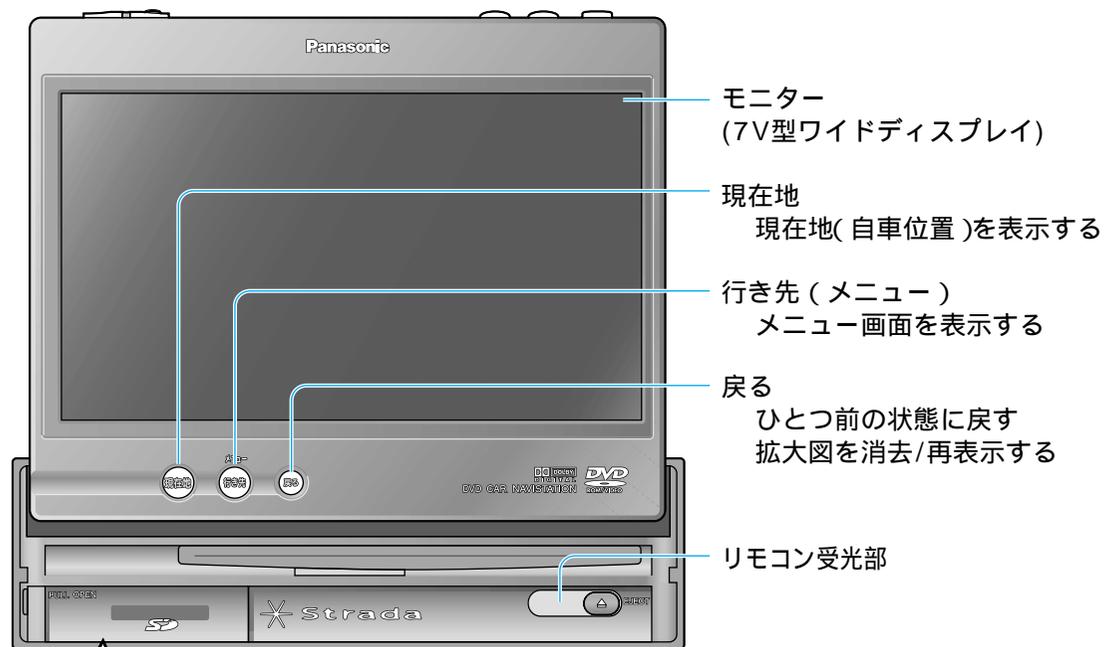
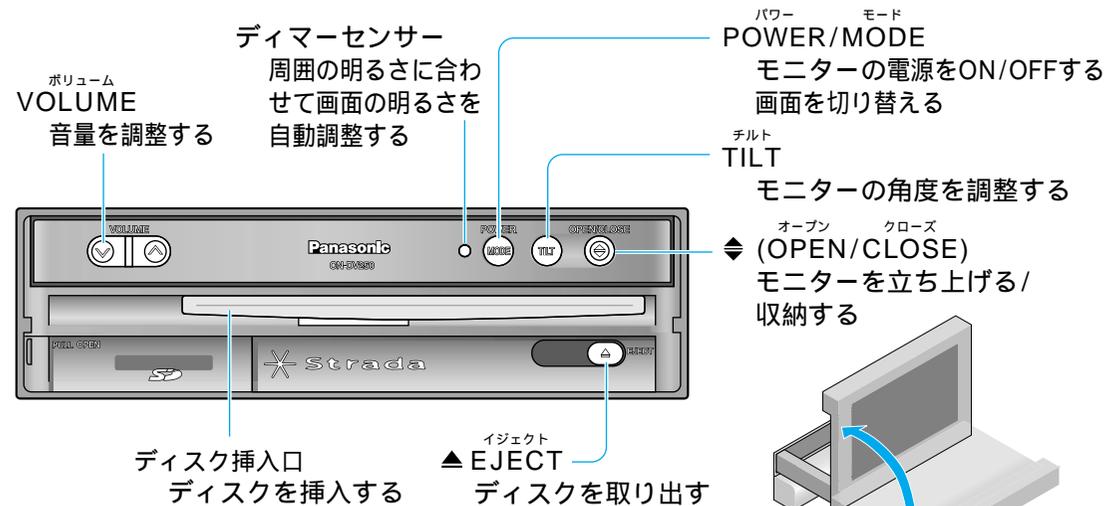


(3Dハイウェイ分岐案内)

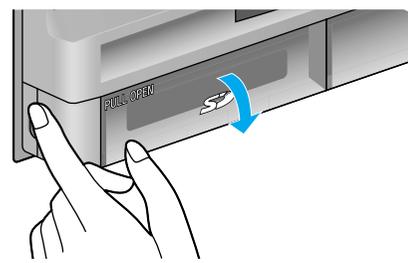
準備・確認

● 主な特長（上手に使って快適なドライブを）

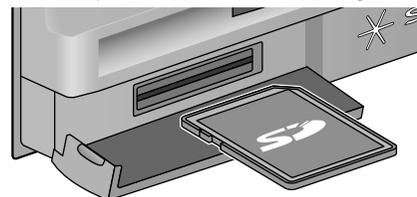
# 各部のなまえとはたらき



SDメモリーカード挿入口  
SDメモリーカードを挿入する

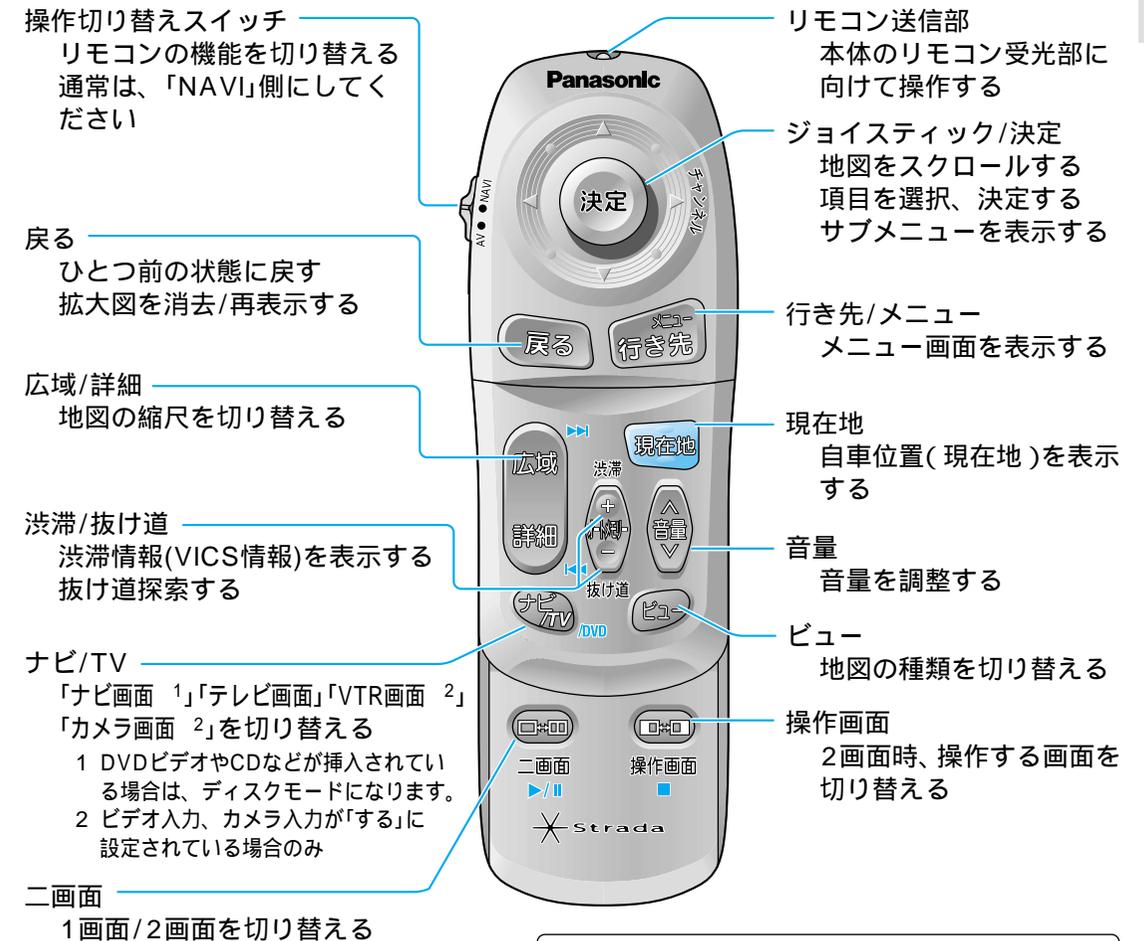


SDメモリーカードの出し入れ時  
以外は、必ず閉めてください。

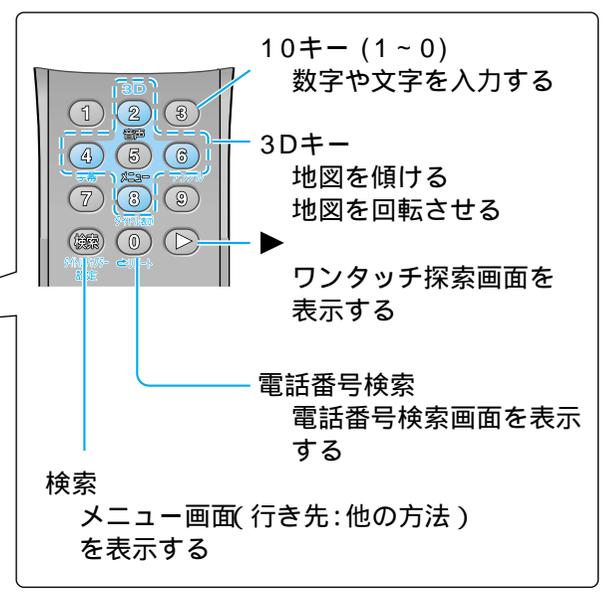
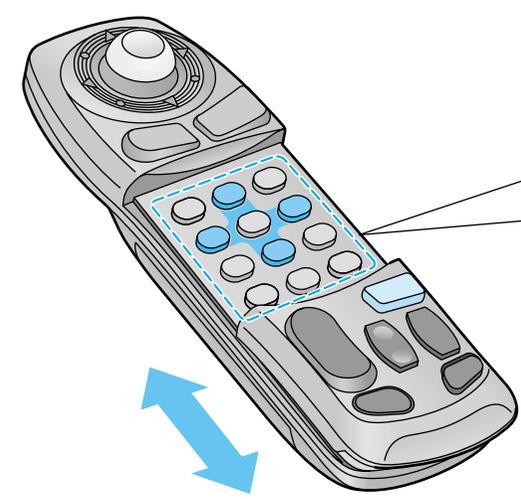


SDメモリーカード  
(← 操作編：「SDメモリーカードを使う」)

## リモコンの使いかた (ナビゲーション操作時)



スライドカバーを開けると



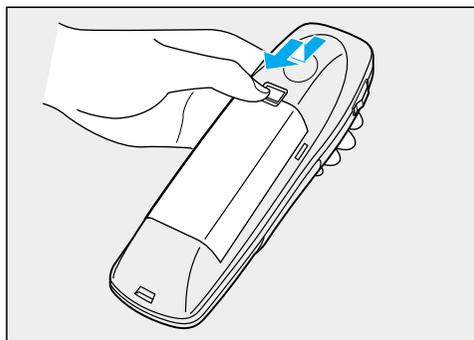
準備・確認

● 各部のなまえとはたらき

# 準備・確認

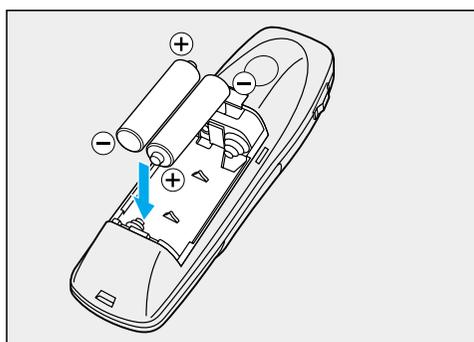
## リモコンに電池を入れるには

1 ふたを開ける。



2 電池を入れて、ふたを閉める。

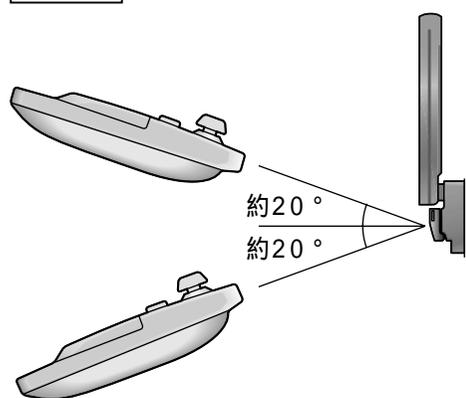
使用電池：単3形乾電池（R6PU）2個  
電池寿命：通常の使用状態（常温時）で  
約5カ月（マンガン乾電池）



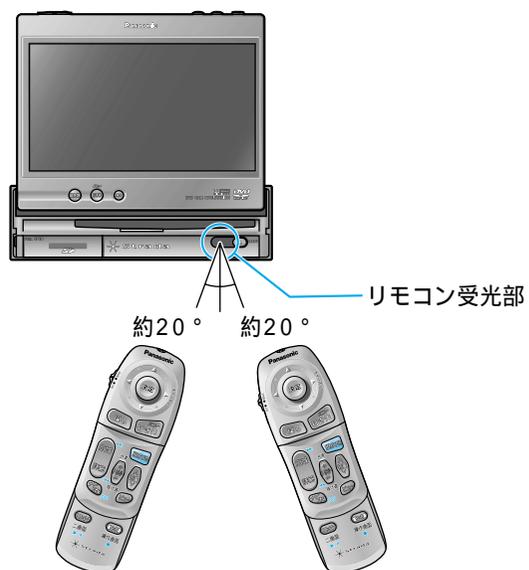
電池の取り扱いについては、取り扱いの注意書きをよくお読みください。（7ページ）

## リモコンの使用範囲について

側面図



正面図



お願い

リモコンホルダーから取り出して、操作してください。

## 操作切り替えスイッチについて

リモコンの機能を切り替える。

ナビ  
NAVI  
通常は「NAVI」側でご使用ください。

エービー  
AV  
SD覚えてルート中（本機の画面表示はナビ画面）に、DVDビデオ/ビデオCD/音楽CD/CD-R・RW（MP3ファイル）/テレビの操作をするとき、「AV」側に切り替えてください。



例：SD覚えてルート中に音楽CDを操作するとき、「AV」側に切り替える。



準備・確認

● 準備・確認

## リモコンホルダーの取り付けかた

両面テープで取り付ける。

お願い

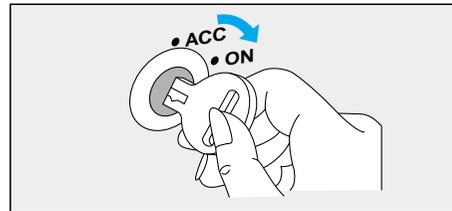
運転の妨げにならない位置に取り付けてください。直射日光のあたるダッシュボードの上などには、取り付けないでください。高温により変形することがあります。



## 電源を入れるには

### 1 車のエンジンをかける。 または、ACCに入れる。

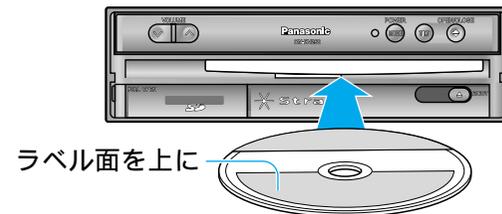
ナビゲーション本体の電源が入ります。  
エンジンを切ると(またはACC OFF)、  
ナビゲーション本体の電源も切れます。



## ディスクを入れるには

### 2 地図ディスクを入れる。

ディスクを入れる前に、すでにディスク  
が入っていないか確認してください。



## ディスクを取り出すには

**OPEN/CLOSE** を押す。

#### お知らせ

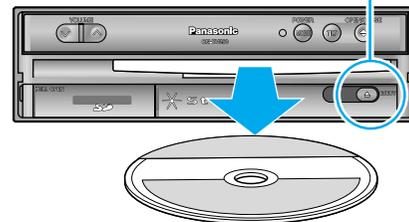
ナビゲーション本体の電源が切れている(エンジン  
OFFまたはACC OFF)の状態では、ディスクの  
出し入れはできません。

#### お願い

地図ディスクは、必ず、付属品(本機専用)を使用  
してください。

取り出した地図ディスクは、必ず専用のケースに保  
管してください。

市販の地図ディスク[ナビゲーションシステム研究会  
(ナビ研)の規格に準拠したものも含む]は、本機では  
使用できません。



## モニターを立ち上げるには

### 3 **OPEN/CLOSE** を押して、 モニターを立ち上げる。

モニターが立ち上がります。

途中で止まったときは

**OPEN/CLOSE** を押して、モニターを収納し、もう  
一度立ち上げなおしてください。



### 4 警告画面の注意事項を確認して、 **確認** にタッチする。

現在地画面(自車位置)が表示されます。  
警告画面中に**確認**が出ない場合があ  
ります。

#### お知らせ

テレビ(VTR/カメラ)画面が表示されたときは、  
**現在地**を押すと、ナビ画面に切り替わります。

#### POWER

**MODE**を1秒以上押すと、モニターの電源が切れます。  
もう一度押すと、電源が入ります。ただし、この操  
作ではナビゲーション本体の電源は切れません。



## モニターを収納するには

#### OPEN/CLOSE

**OPEN/CLOSE** を押す。

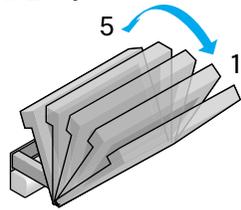


## モニターの角度を調整するには

**1** モニターが立ち上がった状態で  
**TILT** を1秒以上押す。  
 モニターポジション画面が表示されます。

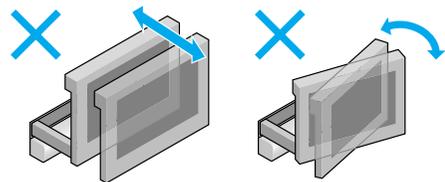


**2** **TILT** を押して、調整する。  
 角度を5段階で調整できます。  
 操作を終了するには、**TILT** を1秒以上  
 押してください。



### お知らせ

前後の位置調整や左右の角度調整はできません。



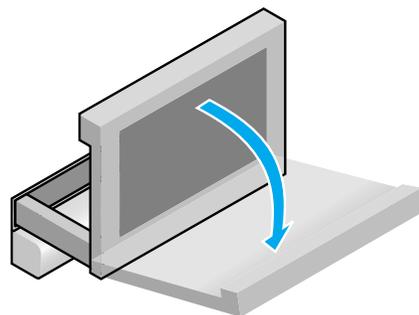
## モニターを一時的に前に倒すには

モニターの背後にあるスイッチなどを操作するとき、一時的にモニターを前に倒せます。

**TILT** を押す。  
 再度押すと、もとに戻ります。

### お願い

モニターを無理に動かさないでください。  
 モニターの動きを妨げたり、無理な力を加えたり  
 しないでください。  
 モニターの上に物を置かないでください。  
 モニターに強い衝撃を与えないでください。  
 (荷物の出し入れ時などに、気を付けてください。)



## 自転車位置を確認するには

GPS衛星から信号を受信して、自転車位置を表示します。見通しの良い場所で確認してください。

**1** GPSマーク(**GPS**)が表示さ  
 れていることを確認する。

GPSマークが表示されないときや点滅す  
 るときは、受信状態を確認してください。  
 (←操作編:「確認する」)



**2** **現在地** を押して、  
 現在地画面を表示させる。

リモコンで操作するには、**現在地** を押し  
 てください。



**3** 見通しの良い道路を、そのまま  
 しばらく走行する。(約30分間)

地図画面上の自転車マークの位置と実際  
 の自転車位置との誤差が補正されます。

## 自転車位置が正しく表示されないときは

以下のような原因が考えられます。

ビルの谷間などを走行した。(GPS衛星から信号を受信できなかった。)  
 GPS衛星からの受信状態を確認のうえ、見通しの良い道路を走行してください。

別の車に本機を載せ替えた/同じ車でタイヤをローテーションした・交換した。  
 距離補正をリセットしてください。(←取付説明書:「取り付け・配線の確認」)